



Contents

- 02 特集 / 新春座談会
- 04 12月定例会
- 06 意見書・11月臨時会
- 07 常任委員会報告
- 10 一般質問 / 市の考えを問う
- 21 組合議会
- 22 議会政治倫理条例を制定・
読者モニター募集します
- 23 広報特別委員会
- 24 あなたとつなぐ・市議会議員紹介 vol.3

あなたとつなぐ

甲賀
こうか

市議会だより

KOKA city assembly report

平成31年(2019)02.01

vol.57

PHOTO [出初式の一斉放水]

新春座談会



議長、副議長と各常任委員長に集まっていたき、新年を迎えて今年の抱負や各委員会での取り組みなどについて語っていただきました。

(司会は広報特別委員会橋本恒典副委員長)



新春を迎えて

お話を伺いました。

林田議長 これからの時代は人口減少社会に向け「新たに手を打つことと従来の政策の「取捨選択をする」必要があります。制度、事業、建築整備等が、30年から40年後にどのような姿になっているかを想像して、「助け合いによる市民生活の維持」「市の公益に寄与している」「まちの魅力に誇りが持てる」ことなどにつながる発想で、議会がより存在を示す一年になればと思っています。

司会 次に、議会運営についてお考えをお伺いします。

林田議長 新たな地域振興策や観光振興、コミュニティ振興等に関して議員には多様な考えがあり、どんな意見にも思いがあります。それを見定めつつ、地域の課題を議会全体の課題として、議員間による議論を高め、よりよい方法を模索し、「合意をする」ための仕組みを考えたいと思っています。



林田議長

司会 最初に新年を迎えての抱負を議長にお聞きします。

司会 ありがとうございます。次に、副議長に新年を迎えての抱負をお聞きします。

土山副議長 副議長は、議長が事故ある時に議長の代わりを努めることを常に念頭に置いた中で、議員として、行政に対して些細なことでも提案していける立場を貫きたいと思っています。甲賀市は県下最高の製造品出荷額を誇っていますが、労働人口、また、国際市場にも不安要素は大きく、皆さんの提案も含めて甲賀市も稼ぐ一年であってほしいと願っています。

司会 12月議会では甲賀市議員政治倫理条例も可決しましたが、議会改革についてのお考えをお伺いします。

土山副議長 昨年は議員政治倫理条例とペーパーレス化に取り組んでいただきましたが、今後は解決すべき課題について議長や議会改革推進特別委員会等の意見を聴きながら取り組んでいきたいと思っています。



土山副議長

司会 今年はまちづくり活動センターがオープンしますが、施設の活用と市民活動について総務常任委員長のお考えをお伺いします。

小河委員長 市民の皆様が待ち望んだ施設でもあり、本センターに情報が集まり、市民のまちづくり活動の拠点として役割を担う施設として期待を寄せています。

司会 市の第2次総合計画も今年で3年目に入りますが。

小河委員長 実施計画については予算との連動を考えすぎずその時々思い切った政策も必要です。市長任期の4年を見据えた方向付けも必要でないかと考えます。来年度予算は実施計画に沿った予算編成になると思っています。

司会 各地域市民センターの整備も進んでいます。

小河委員長 課題であった甲南庁舎は耐震工事を行い福祉の拠点施設に整備されます。今後は土山地域市民センターの整備になります。が、開発センターとの関係で地域の合意形成が必要だと思えます。



小河委員長

新春座談会



対談者

議長	林田	久充
副議長	土山	定信
総務常任委員長	小河	文人
厚生文教常任委員長	山中	善治
産業建設常任委員長	田中	將之
予算決算常任委員長	山岡	光広



議長、副議長、各常任委員長に



山中委員長

司会 ありがとうございます。次に、市では子育て支援に力を入れていますが、子育て施策についてのお考えを厚生文教常任委員長にお伺いします。

山中委員長 待機児童解消に向け2園で増室、認定こども園の話も進んでいます。甲賀子育て情報「こまあち」に掲載されている内容は、全国の他市町と比較しても引けを取りません。

司会 エアコン設置やトイレの洋式化など、教育環境の整備が進んでいます。

山中委員長 教育施設の耐震化はすでに完了、トイレやエアコン工事と共に、平成30・31年度で中学校に電子黒板やタブレットが整備され、教育環境の充実につながります。

司会 (仮称)西部学校給食センターも着工しましたね。

山中委員長 合併特例債を活用し、平成32年4月の開設に向け水口町山土地先で工事が進められています。アレルギー対策、地産地消にも取り組んでいます。

司会 新名神の四日市亀山間もなく開通ですが、新名神を活かしたまちづくりについて産業建設常任委員長にお考えをお聞きします。

田中委員長 富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀を結ぶ観光ルート「昇龍道」を活かしたインバウンド戦略に弾みがつきますね。

司会 名神名阪連絡道路は議員連盟としても取り組んでいます。

田中委員長 現在は調査区間に指定されていますが、昨年は今までの議連の活動により実現に向け一歩前進したと実感しています。さらに地域間の連携を強め進めていきたいです。

司会 日本遺産の忍者や信楽焼など観光にも期待が大きいですね。

田中委員長 市内の観光資源をそれぞれの地域で磨きをかけ市の新たな産業として育てていきたいですね。今年の秋からの連続テレビ小説は全市で盛り上げていきたいです。

司会 最後に、予算決算常任委員



田中委員長

司会 皆さん、どうもありがとうございました。今年も一年よろしくお願いたします。



山岡委員長

長に抱負をお聞きます。

山岡委員長 全議員が参加する予算決算常任委員会ですので、議員の発言をいかに保証しながら、より深く審査を深めていくのか、いろいろと運営上も工夫してきました。市民の皆さんの暮らしに関わる予算ですので、事業のひとつひとつを検証していく必要があります。そのためにも、議員としての研鑽も必要ですね。

司会 新年度予算のお考えは。

山岡委員長 地方自治体の大事な仕事は、市民の健康と福祉の増進、安心、安全のまちづくりです。だからこそ市民の願いに寄り添い応援する政治が求められています。それを具現化するのが予算です。二元代表制のもとで、いかに民意を反映した予算にするのか、市政のチエックとあわせて予算決算常任委員会が活発な議論の場となるよう、運営上も努力していきたいと思っています。

12月定例会

条例・補正予算・指定管理など47議案を審議

12月定例会は、11月28日から12月21日までの24日間にわたり開催され、条例13件、補正予算9件、指定管理3件、契約5件、請願1件、意見書13件、その他3件について審議しました。
なお、人事案件・議決議案を除く議案を各常任委員会に付託し審査しました。

PICK UP 1

包括外部監査条例の一部改正

条例により実施している包括外部監査を、当分の間、休止するもの。

主な質疑

Q 指摘事項の精査に必要な期間は、再施行の時期は。監査結果に対する市の所見は。

A 精査に通常3年を要する。一定の是正を終了した段階で再施行の時期を検討したい。専門家により

様々な角度から指摘を受けたことは大きな成果であり、職員の意識改革につながった。

賛成討論

平成28年度から3年間の外部監査員からの指摘事項の対応に時間が必要という説明は理解できる。また、監査体制の見直しも検討の必要がある。早期に監査の再実施という条件を付し賛同する。

採決 全賛賛成にて可決。

土地開発基金条例の一部改正

土地開発基金条例の基金の上限額を16億円以内から3億円に改めるもの。

主な質疑

Q 3億円としたのはなぜか。他市の状況はどうか。

採決 全賛賛成にて可決。

A 旧甲賀警察、旧甲賀病院の土地は約3億円であることや、現金で保有されている額が、他市の平均で約4億3千万であることなどから3億円とした。

PICK UP 3

敬老金条例の一部改正

より効果的に高齢者の福祉増進を図ることを目的に敬老金の受給対象年齢および支給金額を変更するもの。これまでの80歳以上3千円の支給を100歳以上1万円の支給に変更。

主な質疑

Q 提案理由は「より費用対効果の高い税金の使い方のため」改正とのこと。これまでの事業評価は。変更による差額は、より効果的な事業に充てるのか。

A 敬老の意を表すること、民生委員の見守りの一環、敬老金を楽しみにされていたことなど一定評価している。差額は、福祉増進を図ることを視野に入れた事業に充てる。

反対討論

高齢者の増加により、祝いの金の予算が膨らむことから、80歳以上を100歳以上に対象を絞り、財政支出を抑えることは問題。敬老祝いの金を費用対効果という側面で見ると市長の認識も非常に残念。

賛成討論

県内の状況をみても100歳以上を対象とする自治体が多い。対象が100歳以上になるが、高齢者に対し敬老の意を表し、福祉の増進を図る目的は変わらない。改正による予算の具体的な活用内容を早期に示すことを付し、賛成。

採決 賛成多数にて可決。

PICK UP 4

おうみ自治体クラウド協議会への加入協議

クラウドというシステム環境を利用し、自治体のデータの共同管理を行うこと。他市との協議により協議会に加入するもの。

主な質疑

Q 加入による利点は何か。課題や

問題点はないのか。市独自の施策が統一化されないか。

A すでに加入している7市では、6割の経費削減がされており問題点もない。災害時も情報が保全される。統一化の影響はない。

12月定例会

反対討論

実施自治体の節減評価をするには、期間と実証例が少ない。移行時のデータ交換やメンテナンス費用も検証が必要。何より住民の個人情報流出の不安は担保されていない。慎重な検討と時間が必要。

PICK UPS

議員報酬等に関する一部改正

国家公務員の特別職の給与に関する法案の可決に伴う、市議会議員の期末手当の改正。

主な質疑

付託された総務常任委員会委員長報告の「継続審査」に対する質疑

Q 本議案に対し納得はしているのか。継続審査となった過程は。

A 委員会としては納得している。委員から、敬老金で削減される2300万円の使途が明確でない中で、議員報酬の改正は、閉会中の継続審査とすべきと動議が出され、賛成4、反対3で可決された。

「継続審査」に対する議論

反対討論

● 予算決算常任委員会では、補正予算に対し修正案は出ておらず議

賛成討論

5年間で2億円の節減が図られる。実証例が少ないからと手をこまねいていられない。セキュリティ面は、さらなる強化を求めていくべき。加入についての方向性は、以前から報告されてきたこと。

採決 賛成多数にて可決。

案に対し一貫性に欠ける。継続とする根拠が見当たらない。

● 本議案と敬老金条例改正とは別として判断すべき。敬老金条例改正を認めながら、本議案を継続すべきとは理解しがたい。

賛成討論

一般職の給与の改正に伴い、議員の報酬等を自動的に引き上げることは、自治省の通知にも反すること。敬老金条例改正からも、もう少し時間をかけ結論を出すべき。

採決

「継続審査」は賛成少数で否決。その後、総務常任委員会で議案審査され可決。再度、本会議で議案審査をし全員賛成にて可決。

議案の審議結果

賛否が分かれて可決した議案	
改正 条例	敬老金条例
その他	おうみ自治体クラウド協議会への加入に関する協議

全員賛成で可決した議案	
制 定 例	まちづくり活動センター条例 甲賀市議会議員政治倫理条例
条 例 改 正	消防団条例 地域市民センター設置条例 包括外部監査条例 土地開発基金条例 児童クラブ条例 甲賀市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 市民福祉活動センター条例を廃止する条例 議会の議員の議員報酬等に関する条例 特別職の職員の給与等に関する条例 職員の給与に関する条例

全員賛成で可決した議案		
平 成 3 0 年 度 補 正 予 算	一般会計補正予算（第4号） 一般会計補正予算（第5号） 病院事業会計補正予算（第1号） 病院事業会計補正予算（第2号） 介護保険特別会計補正予算（第2号） 診療所事業会計補正予算（第1号） 介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号） 水道事業会計補正予算（第1号） 下水道事業会計補正予算（第1号）	
	そ の 他	指定管理者の指定（貴生川駅南駐車場） 指定管理者の指定（歴史民俗資料館） 指定管理者の指定（東海道伝馬館） 市道路線の認定（水口町新城地先） 契約の締結4件（仮称）西部学校給食センター新築工事（建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事・厨房設備工事） 契約の締結（水口体育館新築工事） 教育委員会委員の任命

常任委員会報告 総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

まちづくり活動センターの施設管理の条例、 消防団員の定数を変更する条例など審査

12月14日と21日に委員会を開催し、付託された条例の制定・一部改正9件、協議議決1件の10議案を審査しました。

● 全員賛成で可決すべきものと決定した議案

- ・ まちづくり活動センター条例の制定
- ・ 消防団条例の改正
- ・ 地域市民センター設置条例の改正
- ・ 包括外部監査条例の改正
- ・ 土地開発基金条例の改正
- ・ 特別職の職員の給与等に関する条例の改正
- ・ 職員の給与に関する条例の改正
- ・ 議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正
- 賛成多数にて可決すべきものと決定した議案
- ・ おうみ自治体クラウド協議会への加入に関する議決
- 賛成多数で継続審査すべきと決定した議案
- ・ 議員の議員報酬等に関する条例の改正



消防団条例の改正

定数を実員数に近づけるため定数を改正(1230人→1120人)および、消防組織法第22条に基づき団長を除く団員の任命権者を変更。

A 現団員が1123名で、改正後の定数は1120名であるため、問題ないと考える。また、班を統合することにより初動体制が早くなると思われる。

Q 自主防災組織との連携・強化が以前からの課題であるが。

A 自主防災組織については、地域により活動に差があるため、市からの出前講座や各訓練に出向いた際にその強化体制についてお願い

している。また、今年度に50名程度増え160名程度になる防災士に地域の中核的な役割を担っていただきたいと考えている。

継続審査に

議員の議員報酬等に関する条例の改正

国家公務員の給与改定に基づき、国の特別職に準じて期末手当支給月数を改正し引き上げようとするもの。

質疑では、国に準拠した改正であるが、甲賀市の現況を加味したものかなどが確認された。

また、委員からは敬老金で削減される2300万円の使途が示されない中で、議員報酬を上げるといふのは市民から見てもどうか、委員会や議会の中で充分議論すべきとの意見が出され、閉会中の継続審査の申し出があり、賛成多数で継続審査とすべきものと決定した。

継続審査とすることに対し

反対討論

敬老金と議員報酬を一緒にすべきではない。また、執行部の提案説明とその後の質疑の中身は根拠があつて道理がある。

賛成討論

敬老金で削減される2300万

円の使途が示されない中で、議員の手当をあげるというのは、現時点でこの議案を判断することは難しい。

継続審査本会議で否決

継続審査が21日の本会議で賛成少数で否決され、再度、総務常任委員会において、この議案の審査を行いました。質疑討論の後、全会一致で可決すべきものと決した。

解説

※「継続審査とは」

会期中に議案などの審査を終了することが困難な場合に、議会の議決によって、会期が終了した閉会後も引き続き委員会でも審査を行うこと。

所管事務調査

● 陶芸の森前私有地活用に伴う土地の取得

市の方針、財産取得費の概算や、今後のスケジュール、これまでの経過など。

報告事項

- 新市建設計画の変更(案)に係るパブリックコメントの実施
- 旧山内小学校及び保育園跡地活用に係るスケジュール

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

事業会計補正予算、

敬老金条例の一部改正など審査

12月13日に委員会を開催し、補正予算5件、条例の一部改正・廃止3件、指定管理3件、契約締結5件の16議案について審査しました。

● 全員賛成で可決すべきものと決定した議案

- ・ 病院事業会計補正予算(第1号)
 - ・ 病院事業会計補正予算(第2号)
 - ・ 診療所事業会計補正予算(第1号)
 - ・ 介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)
 - ・ 介護保険特別会計補正予算(第2号)
 - ・ 児童クラブ条例の一部改正(伴谷東児童クラブ)
 - ・ 市民福祉活動センター条例の廃止
 - ・ 指定管理(貴生川駅南駐車場)
 - ・ 指定管理(貴生川駅南駐車場)
 - ・ 指定管理(甲賀歴史民俗資料館)
 - ・ 指定管理(東海道伝馬館)
 - ・ 契約締結(西部学校給食センター)
 - ・ 建築主体工事 9億4392万円
 - ・ 電気設備工事 3億2184万円
 - ・ 機械設備工事 6億4603万4400円
 - ・ 厨房設備工事 3億6876万6千円
 - ・ 契約締結(水口体育館新築)
- 賛成多数にて可決すべきものと決定した議案
- ・ 敬老金条例の一部改正



指定管理 貴生川駅南駐車場

なぜ名古屋屋の会社が指定管理

指定管理の会社は、中京エリアの駐車場管理専門の会社で、24時間無人式のシステムを採用している。インターホンで直接つながっ

っているか。

A 指定管理の会社は、中京エリアの駐車場管理専門の会社で、24時間無人式のシステムを採用している。インターホンで直接つながっ

ており、トラブル対応は警備会社が行っているので問題はない。環境整備は地元の人が委託されてしている。

契約締結 西部学校給食センター

契約がプロポーザル方式なのはなぜか。

A 学校給食センターは、まず厨房設備を選定してから設計する特殊な物件で、厨房メーカーの専門的な意見を反映する必要がある。プロポーザル方式の場合、審査段階で参考金額の提示があり、設計が完了した段階で再度見積りし、予定価格を超過した場合は契約を結ばない。

※【プロポーザル方式とは】

主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

所管事務調査

● 陶芸の森前私有地活用に伴う土地取得について
窯業試験場跡地を含めた文教工

リアを効率的に活用する。
● 自殺対策計画の策定
パブリックコメントを実施する。

現地視察

小中学校におけるICT機器活用事例を視察した。

● 10月3日、土山小学校4年生の社会の授業。

● 11月22日、甲賀中学校2年生の理科の授業。

生徒がタブレットに発表内容を書き込み、その内容を電子黒板に転送して発表し、意欲的に授業を受ける様子を視察。また、学校現場から機器整備の拡充が必要との報告があった。



電子黒板を活用した4年生社会の授業(土山小学校)

常任委員会報告 産業建設常任委員会・予算決算常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

主要農作物の種子生産にかか

県条例の制定に関する請願などを審査

12月17日に委員会を開催し、付託された請願、補正予算2件、市道路線の認定1件を審査しました。

● 全員賛成で可決すべきものと決定した議案

- ・ 主要農作物の種子生産にかかるとする県条例の制定に関する意見書の提出を求める請願
- ・ 市水道事業会計補正予算(第1号)
- ・ 市下水道事業会計補正予算(第1号)
- ・ 市道路線の認定(水口町の新城・北沢4号線の市道認定)



主要農作物の種子生産にかかるとする県条例の制定に関する意見書の提出を求める請願

昨年4月1日、主要農作物種子法の廃止を受け、県は関係要綱を一本化した「滋賀県水稲、麦類および大豆の種子供給に係る基本要綱」を制定し、同要綱に基づく種子生産が開始された。

今後も県行政が種子生産に中心的な役割を果たし、必要な予算及び関係部署の人員体制を恒久的に措置する観点から、主要農作物の

種子生産に係る条例を制定されるよう県へ意見書の提出を求めるもの。

賛成討論

他県などは既に条例を制定しており、また制定の動きが広まっていることから、滋賀県も早期に条例を制定し、種子の安定供給を図ることが必要である。

所管事務調査

- 陶芸の森前私有地活用に伴う土地の取得について
- くすり学習館の施設管理について

平成30年度一般会計補正予算について審査

12月18日に委員会を開催し、付託された補正予算案2件について審査しました。

● 全員賛成で可決すべきものと決定した議案

- ・ 一般会計補正予算(第4号)
- ・ 一般会計補正予算(第5号)

補正予算第4号

国・県補助採択に伴う事業や、放課後児童クラブ支援事業、(仮称)西部学校給食センター建設事業など緊急に対応が必要な事業にかかる予算の追加など。

あった。

予算決算常任委員長から
・ 現時点で矛盾となる予算の修正案が出されていないので、付託された議案に対して質疑を行い採決する。



補正予算第5号

人事院勧告に伴う職員等の給与及び期末手当などの変更

総務常任委員長である委員から、同委員会での審査で、人勸に伴い議員の期末手当を増額する条例改正案が継続審査となったが、それを前提とした本議案をどう審議したらいいか、という発言が

賛成討論

人勸に準拠して職員給与及び手当等の改正を行うもので原案の通り可決すべき。なお総務常任委員会での審査結果に沿い、当局の適切な執行をお願いする。

20人の議員が市の考えを問う

平成30年
12月7日・10日・11日・12日

目次

平成30年 第6回甲賀市議会定例会一般質問

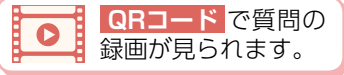
順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 効率的な会計管理のあり方について 2 日本語初期指導教室の現状と課題	11	やまおか みつひろ 山岡 光広	1 新年度予算編成に市民の切実な願いを実現を 2 災害に強いまちづくりへ抜本的な対策を 3 後期高齢者の「健康診査」を抜本的に見直し、健康寿命を伸ばす対策を 4 新名神甲南PAからインターチェンジへの流出路の新設について
2	たなか よしかつ 田中 喜克	1 厳しい財政状況の中、新たな財源確保の現状と見直しは 2 危険な貴生川地区・三大寺、三本柳地先の城川の早急な改修について 3 市内公共交通の現状と近江鉄道の今後について 4 起り得る甲賀市大災害時の行政の役割と地域の役割について 5 改めて、貴小児童の安全通学に必要な杣川に架橋の歩行者専用橋の設置を	12	やまなか よしほろ 山中 善治	1 附属機関の活用について 2 鈴鹿馬子唄全国大会について
3	うかい いさお 鶴飼 勲	1 本市の伝統野菜並びに忍シリーズ産品にかかる行政支援について 2 本市職員の「仕事の根拠」、基礎自治体と「法」、コンプライアンス視点に立った「説明責任」について	13	たなか あらと 田中 新人	1 柏木地域公共施設駐車場対策について 2 柏木地域の道路対策について 3 観光振興のための実態調査について
4	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 学校の領土問題教育 2 民間救急事業者との提携 3 市営合葬墓地の創設	14	たなか まさゆき 田中 将之	1 観光危機管理の充実について 2 市のため池対策について 3 公民連携と都市経営について
5	ほり いくこ 堀 郁子	1 療育支援について 2 広告掲載について 3 産婦健診助成の導入について	15	はしもと りつこ 橋本 律子	1 農福連携事業の促進と地域農業の発展 2 市民により身近で確かなIT情報を
6	つちやま さだのぶ 土山 定信	1 甲賀市と張家界市（中国）の交流事業について 2 甲賀市立大野小学校のグラウンドについて 3 甲賀市の東玄関整備方向について	16	はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 滋賀県青年大会の開催と青少年の文化活動の推進について 2 甲賀市の社会教育の推進について 3 社会的養護の充実と市の取り組みについて
7	しらさか まりこ 白坂 萬里子	1 土山地域の閉校・閉園後の利活用について 2 電子図書館について 3 肺がん検診の受診率向上について 4 高齢者の移動手段について	17	こにしき よつぐ 小西喜代次	1 県立信楽窯業技術試験場移転先の土地取得について 2 市の大戸川ダム建設要望について 3 グランドゴルフ場の常設について
8	おかだ しげみ 岡田 重美	1 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の現状について 2 コミュニティバス無料乗車券の拡充について 3 市内公園遊具の充実について 4 図書館の充実、移動図書館の巡回について	18	たけわか しげくに 竹若 茂國	1 消防団の再編について 2 旧甲南庁舎の活用及び名称について 3 敬老祝い金の活用について 4 障がい者スポーツ（パラスポーツ）振興について 5 観光資源の活用と改修等の支援について 6 県道草津伊賀線甲南地先の歩道設置について
9	おくた こうじ 奥田 宏嗣	1 災害に強いまちづくりに向けて 2 市内道路の安全管理について	19	さとみ あつし 里見 淳	1 公共事業にもっと民間活力を
10	やまなか しゅうへい 山中 修平	1 職員の働き方の現状とあり方を問う	20	もり た ひさお 森田 久生	1 老朽化が進む当市公共施設等の今後の維持管理について 2 当市の「ふるさと納税」の実情と今後の方向性について

■答弁者の凡例

総合政策部長	総政部長	市民環境部長	市環部長	危機・安全管理統括監	危機統括監
産業経済部長	産経部長	こども政策部長	こ政部長	健康福祉部長	健福部長
				農業委員会事務局長	農委局長

公職選挙法メモ

議員が選挙区内にあるものに対して寄付をすることは、いかなる名義でも禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



楽しく日本語を学ぶ子どもたち

Q 9月から新たな施策として、来日間もない子どもたちが安心して学校生活を送れるように、日常生活に必要な日本語を、集中して指導する日本語初期指導教室「かわせみ教室」が開設された。事業の必要性の認識はどうか。

教育長 日本語指導が必要な児童生徒は、今年度201名と、27年度から1.5倍になっている。28年度に10日間開催した実績から見ても、必要性を強く実感した。

戒脇 浩

Q 「かわせみ教室」を発展的に

A 負担軽減を図り整備に努める



Q 閉校した学校の机や備品を活用するなど、最小の予算で施策展開していることは理解するが、Wi・Fi環境の整備など課題認識は。

教育部長 有能な指導者を配置することができ、児童生徒は意欲的に学習を進めているが、送迎が不可能な児童は通えていない。今後保護者の負担軽減を図りながら条件整備に努める。またWi・Fi環境は今年度中に整備する。

Q 外国籍の児童生徒と共に学ぶことは、日本の子どもたちにとっても有意義なことであると考え、今後の方向性はどうか。

教育部長 児童生徒は今後増加が見込まれる。必要な予算を協議するとともに県への要望も行う。

その他、会計管理者に対し、その職務の認識、公金の安全な管理と効率的な運用について質し、職務の重要性と公金の安全性を確認した。

田中 喜克

Q 杉川に歩行者専用の架橋建設を

A 駅周辺整備で具体的整備を検討



Q 危険な貴生川三大寺・三本柳地先の城川の早急な改修を望む。

市長 城川上流蛇行箇所は改修は下流域の改修を優先するが、当該箇所は浚渫等適切な維持管理を県に要望する。城川下流の洪水回避の「分水導水路」は現在計画はなく、堆積土砂の浚渫等の維持管理で必要な対応をする。

Q 市の公共交通の将来を見据えて近江鉄道・信楽高原鐵道の相互乗り入れ、コミバス連携で市内総合公共交通網の構築を。

市長 近江鉄道・信楽高原鐵道の相互乗り入れは設備面での課題多く「びわこ京阪奈線構想」で広く議論を。また総合交通網の構築は地域と行政、交通事業者が一体となって取り組むべき課題と考える。

Q 厳しい市財政、新たな財源確保の現状と見通しはどうか。都市計画税導入や売電事業取り組みを。

市長・総務理事 新たな財源確保の前提には、まずは行政内部の経費の徹底した削減の取り組み、職員一丸となった最小の投資で最大の効果を生み出せるように努力していく。その上で都市計画税導入等慎重に判断していく。新たな財源・既存財源の確保に努力する。

城川屈曲蛇行・バイパス分水路



- ① 三大寺地先・屈曲蛇行
- ② 三本柳・分水導水路計画箇所

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

鵜飼 勲

Q 伝統野菜等、農産物の行政支援は

A 地域ブランド化を推進したい



QRコード

糸目 仁樹

Q 領土教育の推進を

A しっかり進めることを望む



QRコード

Q 今日までの行政支援策は。

産経部長 国の経営所得安定対策の産地交付金、市独自の水田園芸作物振興対策事業として支援策を講じている。

Q 生産者・JAこうか・行政との三者協働による地域ブランド化のより進化した構築は。

産経部長 市や関係団体で構成する担当者が「甲賀市農業サミット会議」を毎月一回程度開催し、農家の意見や生産課題を共有し魅力ある地域ブランドの構築を図る。

Q 地域ブランド化に係る認識は。

市長 JAこうかを中心に農業者や商工業者と連携し、6次産業化製品や観光商品等を生かし、甲賀の農産品に魅力を付加することで地域ブランド化を推進する。

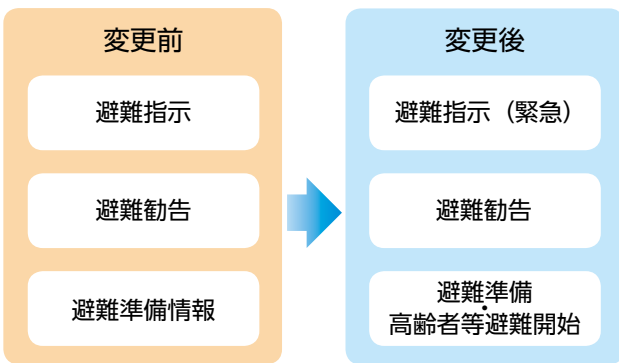
Q コンプライアンス視点に立った「説明責任」とは。

総務部長 自治体職員は法に則り業務に携わる事が重要で、市民の皆さんの権利や義務に及ぶものについては、信頼を得るという視点

に立った説明責任を果たす。

Q 国におけるガイドラインの見直しにより「避難準備情報」が「避難指示・高齢者等避難開始」に「避難指示」が「避難指示（緊急）」に変更された。本市は変更されていないが合理的な理由は。

危機統括監 国におけるガイドラインに沿った表現に改める。



「避難準備情報」の名称変更について（平成28年12月26日公表）



国後島の羅臼山

Q 滋賀県の北方領土視察団に参加し、竹島資料室も訪れた。現地に比べその他地域では理解が乏しい。本市内学校での領土教育の現状と今後のあり方について所見を問う。

市長 子どもたちが自国の領土を正しく理解することが重要であり、各学校で領土教育がしっかり進められることを望む。

教育長 学習指導要領に従って教育をしている。生徒のこの問題に対する判断力の育成を図りたい。

Q 災害時の救急に備え、民間救急と提携しているか。事業者情報を市民に提供出来ないか。

危機統括監 甲賀広域行政消防本部では湖南市に1社認定されている。

健康部長 民生・児童委員への「社会資源のしおり」の中で民間救急の事業者情報を掲載したい。

市営合葬墓の設立

Q 市外からの転入者から市内にお墓が無く困るとの声を頂く。神戸市で新設の鶴越合葬墓のような施設を甲賀市で設立出来ないか。

市環部長 市民から問い合わせがあり、ニーズがあると感じる。研究を行いながら検討したい。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

堀 郁子

療育にABAを入れさらに充実を

A

こじか教室の指導に取り入れ検討



Q 甲賀市は療育指導に熱心に力を入れ、県下でも1番と言われている。しかし、発達障がい児を抱える保護者の悩みが尽きることはなく、少しでも対応できればと、公明党のネットワークを活かし国会議員に直接要望したところ、ABAに基づいた療育指導法の研修を国でも開催し県から市へ展開することのこと。ABAは一人ひとりの特性に合わせて行動目標を立て達成度を見て行動の変化を生み出す指導法。指導法にABAを取り入れては。更に保護者にもストレスなく子育てできるようなペアレントトレーニングやプログラムがある。甲賀市は今までも講座をしてきているが、もっと周知し小さいお子さんの保護者も対象にしたり、夜間にも開催し、きょうだい児も



こじか教室の支援の紹介

共に参加出来るなど、たくさんの方に来て頂いては。また色々な相談ができるペアレントメンターの研修、配置をしては。社会が発達障がいを認知し受け入れられるよう研修をしては。
 C 政部長 こじか教室の指導にABAを取り入れることを検討する。講座は休日や夜間開催も検討する。今までから発達障がい認知の研修は企業向けや講座など開催してきた。さらに啓発、研修を行う。

土山 定信

中国・張家界市への訪問目的は

A

友好関係の協定を結んだ



Q この11月12日市長は、産業経済部と中国の張家界市の交流事業として訪問した。様子を聞く。
 市長 中国湖南省の張家界市には、世界遺産の大変壮大な自然が数多くあり、それらを活かした観光産業のスケールの大きさには圧倒された。観光インフラ整備も急ピッチで整備されていて、海外資本も含めて民間投資の活用が目覚ましいと感じた。
 また野外ステーションでも、大きな迫力と工夫を凝らしており、ラスベガスを超える迫力で魅了された。今後張家界市と、継続的に交流を深めていきたいと感じた。
 C 本事業の目的を聞く。
 産経部長 本市と「友好都市関係の確立に関する協定書」を締結した。
 張家界市は、世界各国から年間7300万人の観光客が訪れ、中国でも屈指の観光都市である。観光、経済分野で新たな交流、連携が必要であると考える。



張家界市のガラスの吊り橋

Q 今後の観光戦略への活用について。
 産経部長 日本遺産に認定された「甲賀流忍者」や「信楽焼」など本市特有の観光資源を活かした外国人誘客の増加を目指す点や、「お茶」についても学ぶところがあり、参考にしていく。

議員は選挙区内に病氣見舞金を出すことが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

白坂萬里子

Q 無料乗車券の75歳以上への拡充を

A 是非、前向きに検討を進めたい



QRコード



Q 高齢者の移動手段について、私は合併した直後の平成16年12月議会より、介護予防の為、又交通事故防止の為、又いつまでも甲賀市に住み続けられる為、コミュニティバスの路線運行の利便性や、75歳からの無料化など、7回に及び議会で取り上げ質問してきた。

しかし、合併して15年、未だバスに乗りたくても乗れない地域やバスやコミタクの無料の恩恵も受けられない地域がある。一体いつになればこういう問題が解決されるのか。高齢者の運転免許証返納がしやすい環境とはどうあるべきなのか。真剣に問うべきでは。

今回、「甲賀市敬老金条例の一部を改正する条例」が提出され、敬老金の支給「3千円」が80歳以上から100歳以上に見直されようとしているが、支給の見直しにあたっては、それに代わる何らかの恩恵を高齢者の皆さんに示さなければ容易に理解していただけないのでは。そこで、その対策として、

広く高齢者が喜んでいただけるバスやコミタクの無料化を現在の80歳から75歳へと引き下げられないものか問う。

市長 高齢者の円滑な移動に対する経済的負担を軽減し、外出機会をより一層創出することで、健康増進や生きがい作り、また公共交通の利用促進を図る観点から、是非前向きに検討を進めたい。



市内を走るコミュニティバス

岡田 重美

Q コミバス無料乗車券の拡充を

A 75歳以上への拡充前向きに検討



QRコード



Q 総合事業において、どのような判断で、介護認定につなげる人と基本チェックリストの人に分けているのか。

健福部長 窓口でパンフレットや受付シートを用い、十分な説明とニーズ把握を行い判断している。

Q 現行相当サービスの希望や必要性があれば、安易に緩和型に移行でなく、現行相当サービスが継続されるべきと考えるがどうか。

健福部長 現行相当サービスを継続する必要があるれば、継続して現行のサービスを受けていただければ。

Q コミュニティバス無料乗車券を75歳以上からに拡充すべき。

市長 高齢者の移動に対する経済的負担軽減、生きがい作り、公共交通利用促進などの視点から、前向きに検討していきたい。

Q 市管理の公園遊具の点検は、あいの丘文化公園遊具の充実を。

建設部長 専門業者が年2回、職員などが年2回以上点検してい

る。あいの丘文化公園への新たな遊具設置の予定はない。

Q 鮎河・山内地域に移動図書館の巡回をすべき。老朽化している水口図書館の改築はどうか。

教育部長 移動図書館は、図書館協議会などの意見もふまえ検討。

教育長 水口図書館は、市民の声を聞きながら、市内5館の整備計画全体の中で検討していく。



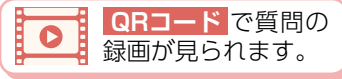
移動図書館 ぶつくるん



移動図書館 ほんバス

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



奥田 宏嗣

Q 災害に強いまちづくりに向けて

A ハード・ソフト両面の対策必要



山中 修平

Q 職員の働き方の現状とあり方は

A 仕組みづくりで残業を減らす



- Q 防災へ基本的な考えは。
市長 河川改修・治山対策「共助の仕組み」を整える。
- Q 防災倉庫の数、非常食・飲料水は。
危機統括監 小学校区基準40箇所。非常食6万9千食、飲料水201万6千本。
- Q 災害用ドローン活用は。
危機統括監 災害状況把握に建設部が1機活用。物資運搬用大型は今後検討。
- Q 地震、台風でも倒壊が危惧される電柱の無電柱化は。
建設部長 国も推進しているが、既存埋設物や費用面で課題。
- Q 胆振東部地震のようにブラックアウトは起きないか。
危機統括監 関西電力では隣接電力事業者の連携線で大規模停電が発生しない仕組み。地域的な停電には避難所を開設し物



白線が消えて見えない通学路の横断歩道

- Q 【道路安全管理】白線等の設置やチェックは。
建設部長 交通規制に関わるものは公安委員会。中央・外側線は道路管理者。チェックは職員パトロールや地元区からの要望。
- Q 通学路グリーンベルト設置は。
建設部長 野田橋東側六角堂は安全対策検討中。
- Q 交通弱者に優しい施策への考えは。
市長 人優先の安全思想。安心安全な新規市道整備や改修に努める。

- Q 職員の残業実態は。
総務部長 昨年度は全職員平均10・6時間で、減少傾向から一転増加した。台風や庁舎移転要因と考えるが、さらなる抑制を図る。
- Q 残業が多い部署は。
総務部長 産業経済、建設、総務、市民環境、総合政策の各部である。
- Q 残業が多かった個人は。
総務部長 一ヶ月平均62・9時間。
- Q 個人への指導は。
総務部長 2か月連続で30時間、単月で60時間を超えた場合は、所属長に職員名と業務内容の報告を求め、業務の進捗管理と改善策や業務分担の適正化を指導している。
- Q 18時にパソコンを強制終了する大津市の取り組みは。
総務部長 残業管理や職員の意識向上には効果があるが、仕事を持ち帰る恐れもあり、効果を十分見極めて検討したい。
- Q 根本的な解決には。
総務部長 人事配置、業務分担の



働き方改革が望まれる市役所本庁舎

- 改善で総労働時間を短縮する事、外部委託、IT化やAIの導入など、仕組みづくりが重要である。
- Q 副市長の所見は。
副市長 管理職のマネジメント能力を高め、IT化や外部委託を進める事と、既存業務の改廃が肝要である。
- Q イクボス宣言をした市長は。
市長 職員の仕事と生活の調和を支援し、率先してワークライフバランスを充実させていく。

議員は選挙区内のお祭への寄付や差し入れが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

山岡 光広

Q 内水氾濫による浸水想定もマップに

A 新年度見直しの中で対応



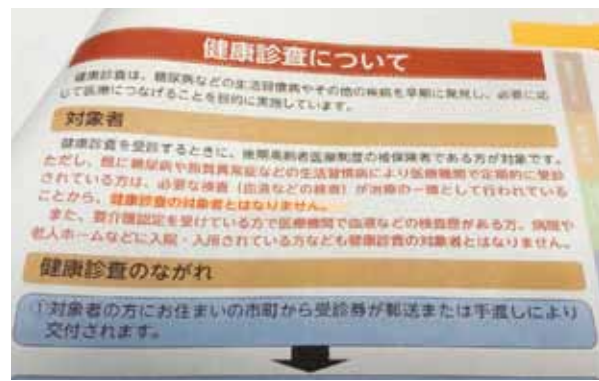
Q 地球規模の異常気象に対処するには従来の延長線上でない防災・減災対策が必要。浸水想定は洪水だけでなく内水面も含めて防災マップに入れるべき。内貴橋詰にある市営梅の木住宅は野洲川の増水が心配な地域。増水防止の堤防や一時避難所のあり方を見直すべき。

Q 危機統括監 来年度作成する防災マップには内水による浸水も含める。一時避難所については見直す。

Q 75歳以上高齢者の健康診査。平成27年度から「生活習慣病」で医療機関を受診している人は対象外とされた。その要因は厚生労働省の「標準的な健診・保健指導プログラム」で「除くことができる」となっていたため。改善を求める声に厚生労働省は問題の記述を削除したが、滋賀の広域連合の対応はそのまま。改善すべきではないか。

市長 治療過程で受ける検査と同様の健康診査で身体に負担をかけないのでなく、適正な治療を受け

ていたことが医療費適正化の対策としても必要。



滋賀県後期高齢者医療広域連合のパンフレット

Q 新名神甲南PAからインターチェンジへの流出路の新設計画、進捗状況は。

建設部長 流出路計画の構造は理解を得られることができたが、事業実施が非常に困難な状況。引き続き協議していく。

山中 善治

Q 附属機関の活用について

A 重要な機関と認識する



Q 市役所内の閉塞感解決への対策を問う。

総務部長 管理職を対象に危機管理研修会を実施している。気軽に相談や意見が言える職場環境にするための取り組みを進める。

職員の倫理保持及び法令順守に関する審査を行う附属機関としては「甲賀市コンプライアンス審査会」であると認識している。

Q 閉塞感のもたらす弊害として、関係職員や議員の知らない所でことが進んでしまうことが懸念される。「絵に描いた餅にしてはいけない」と熱く語られる附属機関の委員は、甲賀市を大切に思っており、新しい風の源的存在と考えている。附属機関を今一度重要視することが閉塞感の解消に有効と考えるが所感を問う。

市長 開かれた市政を一層推進するため、広く様々な分野から人材を選任しており、非常に重要な機関と認識している。



鈴鹿馬子唄全国大会の様子

Q 鈴鹿馬子唄を、午後5時の全市的チャイムに代わって放送することについて。

教育部長 市内には様々な民謡、伝統芸能があり、鈴鹿馬子唄だけに限らず、多様な伝承芸能を広く伝えていく必要がある。放送も、曲の長さや時間帯での相応しさなどの検討が必要と考える。

議員や後援会が選挙区内に有料の挨拶広告を出すと処罰されます。

一般質問

QRコードで質問の録画が見られます。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



柏木公民館前路上駐車

田中 新人

A 公共施設等総合管理計画で検討

Q 柏木地域公共施設駐車場対策は



Q 柏木公民館駐車場対策について。

教育部長 当該駐車場の確保については、建物周辺の利用形態を調査しながら、公共施設等総合管理計画の中で検討していく。

Q 柏木小学校駐車場対策について。

教育部長 校舎玄関付近及び、近隣の柏木児童クラブの敷地を利用しながら、体育館南側を含めた学校敷地を活用し駐車スペースの確保を検討していく。

Q 柏木児童クラブの駐車場対策について。

政部長 柏木児童クラブは、利用希望者の増加に伴い、平成31年度中に増設を計画しており、併せて駐車場も利用者の安全面や利便性を考慮し、舗装整備していく。

Q 柏木ふれあい運動公園駐車場対策について。

建設部長 当公園は整備当初、地の意向で地域の運動公園として整備したもので、地域の運動会等実施の時は乗り合わせ等利用者相互の協力に対応いただきたい。

Q 柏木地域の道路対策について。

建設部長 全ての路面表示を修繕することは難しいが、予算確保を行い、着実に実施していく。

Q 観光振興のための実態調査は。

産経部長 アンケートの実施方法と活用方法を踏まえて検討。観光消費額の把握調査は継続する。

田中 將之

A 国からの支援を受けながら進める

Q 危険なため池の対策は



Q 今年の7月豪雨では、広島県を中心として全国で32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。決壊により人的被害をもたらしたため池が、防災重点ため池に選定されておらず、十分な対策を行っていないかということを受け、今後のため池対策の進め方(防災重点ため池の再選定と今後の対策)を先月11月に農水省が取りまとめた。

市においても昨年秋の台風21号により水口町下山地先の大谷新池が決壊し、下流への被災があった。市内には受益者がいなく、管理する者がいないため池が多くあると思うが、廃止するためにはどのような策があるのか。

産経部長 使用されていないため池の廃止は、堤体を切り割ることで貯水出来ない状態にし、結果破堤による浸水被害を防止する工法が一般的。国からの支援策としては、農村地域防災減災事業の補助制度もあり、条件を満たせば一定額を上限に全額国の負担で事業が実施出来る。ただし、ため池を廃止する場合、ため池所有者及び管理者や受益者との調整、廃止した場合の下流水路への影響等を検討した上で行う必要があり、今後は、関係者との協議を進め、事業を実施していく。



昨年秋の台風21号により破堤した水口町の大谷新池

一般質問

QRコードで質問の録画が見られます。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



京都式農福連携事業

Q 市内の農福連携事業の実態と課題は。

産経部長 現在のところ農福連携で就労支援の組織はなされていない。農業・福祉の双方の知識をもつスタッフの発掘や育成など今後検討していく。

Q 今後市内にも障がい者のための就労支援がより必要になるがどう取り組むのか。

産経部長 農業法人等による障がい者雇用、福祉事務所の農業分野への参入、農地の確保などの条件

橋本 律子

Q 農福関連事業の促進を地域農業で関係者が調整を図り進めていく



QRコード



整備を検討していく。

Q 本市ならではの加工品開発、特産品作りの強化や地域と企業との関係づくりが必要。ニーズに即した支援窓口も求められるが。農政・福祉の密接な繋がりを図るべきと考えるが。

産経部長 今後この取り組みの販売・栽培の技術習得においても行政・学校・地域企業が一体となった仕組みづくりが必要。相談窓口については、甲賀地域農業センターでの個別相談会や経営相談会も利用でき、しっかりサポートしていく。

Q 東京五輪・パラリンピックへの農産物やブランド商品の生産・売り込みに対しても就労支援に発展する事業であってほしいが。

産経部長 関係者が調整を図り推進する。

Q あいコムこうかのお客様対応の改善について。

総政部長 アフターサービス等丁寧な対応で。

橋本 恒典

Q 社会教育に対する考え方は

A 社会教育施設を核に推進



QRコード



Q 滋賀県青年大会の開催状況は。

教育長 8月に本市と湖南市で開催され、甲賀市からは37人が参加。

Q 青少年の文化活動への支援は。

教育長 その環境を整え、指導者等の活動のサポートをしていく必要があると考えている。



甲賀中央公園体育館での開会式

Q 社会的養護の充実に対する市の考え方は。

こ政部長 要保護児童対策地域協議会の強化に努めていくと共に、里親制度や児童養護施設について県と連携し家庭的養護が推進できるように支援を行っていく。

Q 「鹿深の家」の周辺環境は。

こ政部長 市道の整備や通学路の安全対策等向上している。



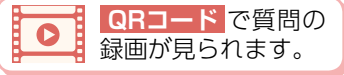
道路整備等が進む鹿深の家周辺

Q 社会教育に対する考え方は。

教育長 社会教育施設を核に学習機会の提供や支援、学校、家庭、地域住民の連携を推進していく。

Q 地域住民等による地域学校協働活動の普及啓発と体制整備は。

教育部長 地域学校協働本部を全国的に整備することを中央教育審議会で提言されており、本市でも取り組んでいきたい。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



「陶芸の森」前の県立信楽窯業技術試験場移転先予定地

小西喜代次

Q 窯業試験場移転先土地の経過は

A 県市双方に有効との事でまとまった



Q 県立信楽窯業技術試験場の陶芸の森前への移転計画で、市が土地を取得することに関し、市は県の発意であるとし、県は市からの申し出としているが、県・市どちらの発意なのか。土地取得の判断はいつ、どの会議か。土地開発基金での取得は基金の目的と整合性は。

副市長 どちらからという事ではなく、双方にとって有効との事でまとまった。

産経部長・市長 市の土地取得の判断は、政策会議で9月10日に方向性を、11月20日に取得の判断をした。土地開発基金での取得は適正である。

Q 政策形成過程は「水面下」で進められており、「つねに市民、議会の声を聞く」という市長の基本姿勢と反するのではないか。県立施設であり、当然県が土地を取得する立場で働きかけるべきではないか。

市長 本件は、市が一旦全体を取得し、分割して県に移転しない限り、試験場の移転用地を確保する手段はなく、それを現試験場敷地と等価交換するもの。今後も市民や議会に意見を聴きながら進めるという基本姿勢には何ら変わりはない。

竹若 茂國

Q 旧甲南庁舎の活用について

A 市民が活用できる複合施設に



Q 旧甲南庁舎の利用について。

総務理事 窓口業務、子育て支援センター、保健センター、包括支援センター、就学前発達支援、商工会、観光協会、公的団体事務所、3階議場は市民交流スペースとして、夜間土日も利用できる複合施設の予定。

Q 市民の複合施設であり、名称を「甲南市民センター」にしては。

市長 複合施設のため地域の皆さんの積極的な意見を聞いて検討する。

Q 消防団の再編における団員の空白地域の対策は。

危機統括官 自主防災組織の充実強化を進める。

Q 自力で避難できない人はどうするのか。

健福部長 避難行動要支援者名簿及び個別避難行動計画を地元と福祉関係者等により作成する。

Q 敬老祝い金廃止後の事業費の活用について。

健福部長 健康寿命モデル事業、健康予防事業、高齢者移動支援を検討したい。

市長 高齢者の皆様への感謝を忘れず、高齢者の皆様の生きがいにつながる施策に必ず結びつける。

Q 県道草津伊賀線の甲南地先歩道の設置について。

建設部長 県は、地権者の用地等の同意があれば整備を進めるとのこと。幹線道路であり甲賀土木と連携して事業に取り組む。



旧甲南庁舎 議場

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

里見 淳

Q 公共事業にもっと民間活力を

A 公民連携ガイドライン作成を検討



Q 甲賀市の公共事業における民間活力の活用は進んでいるか。

総務理事 指定管理者制度が主だが、アウトソーシングや立命館大学との連携を進めている。

Q もっと民間活力を生かした公民連携ができるはず。ところで、

総務部長 総務部が作った中長期計画では、今後の投資的経費の見込みが厳しいという試算だが。

総務部長 現在は市庁舎の建設などで100億円程度の投資的経費だが、32年度以降は抑制する。

Q 抑制した投資的経費では、今まで通りにはいかないと思うが。

総務部長 これからはもっと公民連携して、財源の確保を目指す。

Q そのためには条例などの法整備を進める必要があると思うが。

総務理事 ガイドラインの策定は必要不可欠になると考えている。今後必要となる条例等の整備についても研究を進めていく。

Q ガイドラインの作成にはどれくらい時間がかかるのか。

総務理事 関係部局で調整し、概ね1年間ぐらいかかるが、素案は、もう少し早い段階で作成し議論することができると。

Q 公民連携の専門部署を立ち上げる必要があると思うが。

総務理事 ガイドラインが出来れば専門部署を立ち上げる。



新しい公民連携のイメージ



老朽化が進み新築が計画されている信楽地域市民センター

森田 久生

Q 現公共施設の維持管理財源状況は

A 今後40年間で349億円が不足



今回は、「公共施設等の今後の維持管理問題」と、「当市のふるさと納税」について質問しました。

Q 老朽化が進み危機的な公共施設全般に対する市長の認識は。

市長 市内400を超える公共建築物は、約半分が築30年以上を経過、水道施設や道路、橋梁についても更新時期が近付いており、今後多額の費用が必要と認識。

Q 現在の公共施設を全て維持する場合、今後40年間で改修・更新に必要な費用の試算額は。

総務理事 今後40年間で、1112億円が必要と試算している。

Q 今後40年間で公共施設に投資可能額と財源不足の見込み額は。

総務理事 今後40年間で、公共施設に掛けられる額は、763億円、約349億円が不足する。

Q ふるさと納税制度の、返礼品に対する見直し案が政府で検討されている。ふるさと納税制度に対する市長の認識は。

市長 制度の趣旨を逸脱し返礼品競争で多額の寄付を集めている自治体もある。当市では返礼率を3割以内のルールの範囲内で本市の魅力発信に活用したい。

Q 当市の昨年度のふるさと納税寄付実績と今年度見込みは。

総務部長 昨年度は549件、1486万円の実績。今年度は、件数・寄付額とも昨年を大きく上回る。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

平成30年第4回臨時会 12月26日

職員給与に関する条例の一部改正、平成30年度一般会計補正予算(第2号)、以上2件の議案を審議しました。

条例の一部改正

組合職員の給与に関する条例の一部改正は人事院勧告に基づき、給与、勤勉手当、期末手当を引き上げるもの。

採決 全員賛成にて可決。

補正予算

歳入歳出からそれぞれ1671万7千円を減額。職員異動、人事院勧告に伴う人件費、消防車両機器等の整備、その他契約による額確定。

採決 全員賛成にて可決。

はしがこ付消防自動車披露式

定例会の後、10月30日に更新され、湖南中央消防署に配備されるはしがこ付消防自動車のお披露目式がありました。

契約額2億700



新規更新されたはしがこ付消防自動車

万円の新型で、機動性や消火能力など、性能は大幅に向上しました。車両全長10・7mで伸ばしたはしがこの高さは約30mあり、電動式放水銃やリモートコントロール機能をもち、高層ビルの火災に威力を発揮します。はしがこの上のバスケットは6人まで乗れるので、消火や救助には大いに役立つ構造です。

当日は組合議員も交代でバスケットに乗り込み、地上30mの恐怖と消防員の任務の厳しさを身をもって感じました。

公立甲賀病院組合議会

平成30年第3回臨時会 12月26日

来年4月の「地方独立行政法人」化に向けて、必要な議案が上程、審議の上、可決いたしました。

合に関する条例の一部改正

構成2市の負担割合を地方交付税金基準による算定方式に変更するもの。

採決 21議案は全員賛成にて可決・認定。

採決 21議案は全員賛成にて可決・認定。

●公立甲賀病院組合公告式条例の一部改正

採決 討論なしで賛成多数により可決。

- 議案は地方独立行政法人法に則り、必要な条件整備にまつわるものが21議案で、種別は、新規条例12、一部改正6、廃止1、定款変更1、権利の承継1。
- その他、職員給与に関する条例改正が1議案。
- 地方独立行政法人公立甲賀病院定款の変更
- 地方独立行政法人公立甲賀病院に承継させる権利を定めること
- 保有する不動産を不動産登記法に基づき鑑定し、定款変更で建物面積を変更。またそれを、病院組合から法人に承継させるもの。
- 質疑では、その詳細や影響について行われました。
- 地方独立行政法人公立甲賀病院の重要な財産を定める条例の制定
- 法人の財産処分の際、評価委員会の意見を聞き、また議会承認を必要とする額を定めるもの。
- 質疑では、見積価格の基準や額の根拠について行われました。
- 公立甲賀病院組合負担金分賦割



消防本部で開催された公立甲賀病院組合議会

議会改革推進特別委員会（倫理条例）

甲賀市議会議員政治倫理条例を制定

本条例は、昨年から特別委員会で議論を積み重ね、12月定例会で委員会提案として上程し全員賛成で可決しました。

本条例は、議会基本条例第18条「議員の政治倫理」の規定を補完するもので、議会と市民との信頼関係を構築し、公正で民主的な市政発展に寄与することを目的としています。

特に本条例では、政治倫理の基準を定め、これを遵守しなければなりません。政治倫理基準は、「常に市民全体の利益の実現及び福祉向上を目指して行動する」市が出資している法人若しくは市の施設の管理を行う指定管理者が行う許可又は請負その他契約に関し、特定の者のために有利又は不利な取り扱いをするような働きかけをしない」ことなどを定め、この規定に違反する疑いがあると認められる議員があるときは審査請求することができるとのことです。

議員は市民の代表であることを自覚し、市民の負託に答え得る強い使命感を持って、まちづくりに取り組んでまいります。

なお、制定に向けて、市民の皆様の内容を公表し広くご意見を募集しました。2人から4件のご意見を提出いただきました。誠にありがとうございました。



詳しくは
甲賀市議会HPへ



読んでみたくなる

作戦
会議



はじめます。



市議会だよりを作成していて、いつも悩むのが「どうすれば若い世代に情報が届くのだろう…」「どんな紙面なら読みたくなるのだろう？」ということ。

そこで自由な発想とするどい感性に、アイデアをもらいたい！との思いで、市内の高校に通うみなさんに、ご意見をいただくため読者モニター会議を開催します！

Help Me!

読んでみたくなる「読モ会議」に参加してください!!

議員が皆さんの高校へうかがいます！広報担当8人で行かせていただきます。

高校生の方15人～20人ぐらいのご参加がいただければうれしい😊です！

市議会だより55号、56号、57号をお届けしますので、読んでいただき、率直な感想をお聞かせください！

読む気になれな～い😞

文字多すぎ😞かたすぎる…

こんなだったらいいのに😞

なんていただけたら最高!!です！

ご参加いただける高校は、議会事務局にご連絡ください
甲賀市議会事務局
〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
TEL 0748-69-2259 FAX 0748-63-4373
E-mail koka05101000@city.koka.lg.jp

広報特別委員会

兵庫県丹波市

市議会だより「たんぱりんぐ」は、地元の高校生との取り組みによる読モ会議などの特集ページや、議案審議は特に議論となった点を詳しく紹介するなど、わかりやすい内容に。

議会だよりの読者層を広げるため、30～40代の子育て世代の女性にターゲットを設定、これにより他の世代にもよく読んでいただけるようになったとのこと。



先進地視察研修

より親しみやすい紙面づくりをめざして

広報特別委員会は、平成30年10月30日・31日の2日間、議会広報広聴事業、議会だよりの編集について視察研修を行いました。

広島県廿日市市

議会広報誌「さくら」は、巻頭の特集を委員長、副委員長の2つのチームに分かれて対談をシリーズ化。この手法は当市でも導入できるのではないかと。

また、審議議案は、3つの案件に絞り詳しく内容を掘り下げる手法をテンプレート化することにより分担もしやすいのではないかと感じました。



視察研修をとおして「甲賀市議会だより」をさらに市民の皆さんに親しんでいただける紙面づくりを目指します。



あなたとつなぐ

市議会議員紹介

Vol.3

市民のみなさんに市議会議員をみじかに感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をクローズアップしていきます。

やま なか しゅう へい
山 中 修 平 水口町在住



Q 議員を志したきっかけは？

社会の閉塞感を感じ、地域の声を甲賀市政に届けたいと思った。

Q 議員になって感じたことは？

「ゆりかごから墓場まで」という行政の範囲の広さと自らの勉強不足を感じた。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

常に民意を意識しつつも流されず、あるべき方向性を守ること。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

じっくりと声を聞き、丁寧に考えを伝える。できないことは言わない。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

観音様(宮町)や横たわる妊婦(宇川)など、各地域から見える山の稜線。

おく だ こう じ
奥 田 宏 嗣 甲南町在住



Q 議員を志したきっかけは？

まちおこし・地域活性化等に関心があり、地元前職の引退に伴い打診されたのが大きなきっかけ。

Q 議員になって感じたことは？

議員という立場の難しさと共に自己研鑽を積んで行かないといけないと感じているところ。

Q 議員活動する中で特に意識しているところは？

出来るだけ多くの人と出会い、その出会いを大切に。そしてもっと色々な地域を知っていききたい。

Q 市民とのコミュニケーションで気をつけていることは？

しっかりお話を伺い、応えられるように努める。

Q あなたにとって、市のおすすめスポットは？

甲南町杉谷新田の景色は癒。甲南町寺庄の創造の森は梅・桜など、見所が増えてくると思います。

編集後記

▶ 樺野寺の大開帳が予想を大幅に上回る4万人近い人がお参りされました。ありがたいことです。▶ ありがたいといえば、今年の10月からのNHK朝の連続ドラマの舞台が甲賀市になりました。そう、「スカーレット」です。今からとても楽しみです。盛り上げていきましょう。▶ 広報特別委員会では、視察研修の結果を反映し、新しい企画を練っています。次号では高校生の読者モニターを募集し、議会だより若い率直な意見を取り入れていきます。私たちもどんな意見が出てくるかわくわくしています。▶ 今年は暖冬なんだろうが、去年より暖かい日が増えた気がします。▶ とはいえ朝晩は冷え込みます。体を動かして暖かくしてから外に出るようにしてください。(広報特別委員 里見淳)

議会の傍聴にお越しください!

本会議は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。

3月議会の予定

2月19日	本会議(第1日) 議案上程・提案理由説明・施政方針
2月27日	本会議(第2日) 代表質問
3月1日	本会議(第3日) 議案審議
3月4日	本会議(第4日) 一般質問
3月5日	本会議(第5日) 一般質問
3月6日	本会議(第6日) 一般質問
3月7・8・11・13 14・15・18・19日	委員会
3月20日	委員会予備日
3月25日	本会議(第7日) 最終日

カメラの



甲賀市消防出初式が1月13日、あいこが市民ホールで開催されました。式典に先立ち分列行進が市民ホール周辺で行われ、その後、式典が行われました。式典では長年に渡り消防活動にご尽力いただいた方々への感謝状の贈呈や現役で活躍されている団員への表彰状の授与が行われた他、夏休み子ども防火川柳の優秀作品の表彰も行われました。

式典終了後は車両パレードの後、各方面隊ごとに放水訓練が行われました。(表紙写真は川河川敷での甲南方面隊による一斉放水)



(写真撮影：糸目仁樹委員)